

そのモヤモヤ、ためないで

名古屋市立大磯小学校

六年

福岡 ふくおか

華梨 かりん



私は一年生の頃に「いらん」がありました。
「あんだ、ホントうざい」

と毎日のように言われていました。ほかにも放課のたびに、トイレのとびらをおさえつづられたり、ときには、たたかれたりすることもありました。幸い、その子とはちがうクラスだったので、少しホッとしていました。でも、いつも「私、何かしちゃったかな」「次は何をされるんだろう」と考えてしまい、あまり眠れませんでした。

「みなさんは、このような経験はありますか」「悩んだときに、相談できる人はいますか」相談する人は、誰でもいいのです。例えば、学校の先生やお家の人、友達などに相談してみたらどうですか。私は一番安心して話せるおばあちゃんに話しました。最初は先生に話そうと思いましたが、まわりの目が気になってしまったので、おばあちゃんにしました。おばあちゃんに話し始めると、口が止まらずかくしておこうと思っていたことも、すべて話してしまいました。「あれ、何でだろう」「話しただけで、気持ちが軽くなりました。今までの、モヤモヤや不安、つらい気持ちがあうそみたいに、消えていったのです。本当はおばあちゃんを心配させたくなくて、口にはチャックをしていましたが、口の中が苦しくなってしまう、ずっとこの感じにっつかえていた言葉まで出てきました。そして、おばあち

ゃんは、私の気持ちをソッと受けとめてくれました。私の目は、涙でいっぱいになっていて、ぼんやりとおばあちゃんの優しい、安心する顔が見えていました。

それから、私は転校することになりました。転校初日、「仲の良い友達ができるかな」「まだ、いじめられないかな」といろいろ不安だったけど、クラスみんなが優しく声をかけてくれたので、「ここはみんなが仲良くない所だな」「ここなら安心できる」と思い、心を開いて、心から「楽しい」と思える学校生活を送ることができるようになりました。

私がもし、一年生の頃に勇気が出せず、おばあちゃんに相談することができず、ずっとモヤモヤしていたら、何をしていたんだろう。

テレビや新聞などでよく、いじめなどによる自殺や人殺し、薬物などを使ってストレスを解消しようとしている人のニュースを見かけます。それでもいいでしょうか。もちろん犯罪はダメですが、そのストレスの解消方法を犯罪方面ではない、何か別のことに変えられたら、よいのではないのでしょうか。自分でいろいろためして、自分に合う、ストレスの解消方法を見つけるといいですね。例えば、誰かに相談したり、歌ったり、ひたすら泣いたり、さけんたり、人にめいわくにならないくらいなら、できることはたくさんあります。

犯罪をする人は、何か悲しいことや、つらいこと、いやになってしまったときに、してしまっているのではないのでしょうか。私たちが今からできることは、助けることです。例えば、まわりの人に、たくさん優しく声をかけることです。困っていたり、悩んだりしている人がいたら、「私であれば相談のよろよ」とか、「話せることから話してね」と言うのもいいですね。その一言で友達を救えるかもしれません。

私はいじめてきた人を決して悪いとは思いません。なぜならみんな、この同じ地球に生まれてきた、同じ人間だからです。

最初の方にも言いましたが、みなさんもつらくなったら、信らういできる人に少しずつ、相談してみてください。

最後に、この文章を読んでくれた人にお願いです。まわりに困っている人がいたら助けてください。友達が悪いことをしてしまったら、一緒にならずに、注意してください。「一緒にやらないといじめられちゃうかも」と思うかもしれませんが、でも、大丈夫です。まわりには絶対、あなたと友達になりたいと思っている人、あるいは、もう友達の人を助けてくれます。そして、何よりも、モヤモヤしてつらくなったら、誰かに相談してみてください。これが、みんなが社会を明るくする、第一歩なのではないでしょうか。